

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

5 年 1 組		指導者	〇〇〇〇	教科等	算数科
単元	単元名等	速さ			
	目標	評価規準	※どちらかを選択し、 で囲ってください。		
	知識及び技能	知識・技能	○速さの意味や表し方について理解し、それを求めることができるようにする。 【C（2）ア（ア）】		
	思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	○速さを比べるのに、時間を一定にしたり道のりを一定にしたりして考え、説明することができるようにする。 ◆速さの意味や数直線図をもとにして、道のりや時間を求める式を考え、説明することができるようにする。 【C（2）イ（ア）】		
	学びに向かう力 人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○速さの比べ方について、単位量あたりの大きさの学習を生かして考えようとするようにする。 ○身の回りから速さが用いられている場面を見つけるなど、速さの表し方や道のりの求め方などを生活や学習に生かそうとするようにする。		
	単元の学習展開（全 7 時間）				
	導入	☐ 単元の学習計画を確認し、学習の見通しを持つ。 ・単位量あたりの大きさを用いて、速さの比べ方を考える。			
	展開	☐ 数学的活動を通じて、速さ、道のり、時間について理解し、その表し方を考察する。 ・速さ、道のり、時間について理解し、それらを求める。 ・数直線図や速さの意味などをもとに、道のりや時間を求める式を考え説明する。 ・単位が違う速さについて、時速、分速、秒速を相互に変換して、速さを比べる。			
終末	☐ 基本的な学習内容を理解しているか確認し、習熟する。 ・単元の学習で分かったことや大切な考え方、今後の学習に生かせることなどを振り返る。				
本時 （4 / 全 7 時間）	ねらい	道のりの求め方について、数直線図や前時で学習した「速さ＝道のり÷時間」の式をもとに道のりを求める式を考えたり話し合ったりすることにより、 <u>「道のり＝速さ×時間」となる理由を説明することができるようにする。</u> （下線部…単元の評価規準との関連【◆思・判・表 ノートの記述、発言】）			
	学習過程	「めあて」 「道のりの求め方を説明しよう。」 『課題』 『どうすれば道のりを求められるだろうか。』 『まとめ』 『1時間で80km走るので、3時間で進む道のりは時速80kmを3倍すれば求められる。 道のり＝速さ×時間』 「振り返り」の視点 ・友だちの説明を聞いて「納得できたこと」や「真似したい説明の工夫」			
	努力を要する状況の児童生	【予想されるつまづき】		【必要な支援・手立て】	
		・問題場面の把握が難しい。 （道のりの意味が分からない） ・求め方の見通しが持てない。		・教科書の二次元コードから車が3時間で進む道のりの動画を見て視覚的に理解させる。 ・「数直線図」か「速さを求める式」のどちらを使って考えるか選択させ、それらを使って説明させる。	